

平成19年10月25日

各位

会社名 株式会社アプラス  
代表者名 代表取締役社長  
クラーク・ダグラス・グラニンジャー  
(コード番号 8589 大証第一部)  
本社事務所 東京都新宿区新小川町4番1号  
問合せ先 常務執行役員 野口郷司  
最高財務責任者  
TEL (03)-5229-3986(直通)

### 平成20年3月期中間期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績等の動向を踏まえ、平成19年5月9日に公表いたしました平成20年3月期中間期(平成19年4月1日~平成19年9月30日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

1. 平成20年3月期中間期業績予想の修正(平成19年4月1日~平成19年9月30日)

(1) 連結

(単位:百万円,%)

	営業収益	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A)	54,000	2,500	2,500	2,500	10円99銭
今回修正予想(B)	54,000	1,300	1,400	3,700	16円27銭
増減額(B-A)		1,200	1,100	1,200	5円28銭
増減率(%)		48.0%	44.0%	48.0%	48.0%
(ご参考) 前中間期実績	57,380	3,442	3,543	501	12円70銭

(2) 個別

(単位:百万円,%)

	営業収益	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A)	49,000	2,500	2,500	2,500	10円99銭
今回修正予想(B)	49,000	1,600	1,700	4,000	17円58銭
増減額(B-A)		900	800	1,500	6円59銭
増減率(%)		36.0%	32.0%	60.0%	60.0%
(ご参考) 前中間期実績	52,448	3,599	3,579	638	12円00銭

(注記) 今般の業績予想の修正は、発表時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後のさまざまな要因により異なる可能性があります。なお、平成20年3月期通期の業績見通しは変更ありません。

## 2. 修正の理由（連結・個別）

以下の要因により、営業収益は概ね計画通りを見込んでおりますが、営業利益及び経常利益が減少し、中間純利益が増加する見込みとなったものであります。

### 営業活動は順調に推移

当中間期における営業活動は好調なオートクレジット事業を中心に概ね計画通りに進捗しており、営業収益は概ね計画通りとなる見込みであります。

### 大幅なコスト削減

昨年度から取り組んでおります「経営変革」が着実に進捗していることにより、業務効率の大幅な改善を図り、人件費・物件費にかかる大幅なコスト削減を達成しております。その結果、引続き高い水準で推移するカード新規発行枚数より生じるカード発行初期コストは、十分に吸収される見込みであります。

### 利息返還損失引当金の繰入

当期に入り、グレーゾーン金利にかかる利息返還請求は、一時増加基調を示しましたが、第2四半期以降横ばいで推移する状況が続いております。このような実績を踏まえ、利息返還損失引当金を保守的に繰入れるものであります。なお、当中間期における利息返還損失引当金繰入額は、連結17億円、個別10億円程度を見込んでおります。

### 保有株式の譲渡

当社が保有しておりましたエム・ユー・フロンティア債権回収株式会社の全株式について、平成19年8月30日公表の「保有株式の譲渡に関するお知らせ」のとおり売却したことにより、投資有価証券売却益24億円を特別利益として計上するものであります。

以 上